発育性股関節形成不全の予防と生涯を通じた股関節の健康づくりに向けた京都宣言

私たちは、2026 年 9 月 28 日、京都に集い、発育性股関節形成不全（Developmental Dysplasia of the Hip: DDH）の予防と、生涯を通じた股関節の健康づくりの重要性を共有した。

一次予防の方策により DDH の修正可能なリスク因子を低減することができ、早期発見・早期介入によって良好な予後が期待できる。一方、依然として世界各地で診断や治療の遅れが生じている。発見・治療の遅れは、こどもの歩行障害や活動制限の原因となるだけでなく、将来的な変形性股関節症の発症や生活の質の低下につながる可能性がある。

私たちは、国や地域、文化、医療環境や体制の違いを超え、早期からの適切な予防・発見、ケアや治療を受けられる社会を目指す。その実現のため、私たちは以下を推進する。

- 生涯を通じた股関節の健康づくりと健康寿命延伸への貢献
- DDH の一次予防として、股関節の発育に配慮した M 字姿勢とケアの普及、疾患に対する認識の向上に向けた取り組みの推進
- DDH の二次予防として、身体診察やリスク因子の確認、超音波検査等による早期発見・早期治療の強化
- 地域や社会経済状況にかかわらず、DDH 予防教育、良質なスクリーニング、および適切なケアや治療への公平なアクセスの確保
- DDH およびその長期的な影響（二次性の変形性股関節症やその他の後遺症）とともに生きる人々とその家族への生活支援
- 地域住民、保健医療福祉専門職、行政、研究機関、産業界が協働する地域・国際連携の推進
- 各参加団体による評価可能な行動目標の設定・実施および地域社会における実装・普及の推進

私たちは、予防可能な股関節障害とその疾病負担を減らすため、生涯を通じた股関節の健康づくりを推進する。医療・保健・福祉・教育・産業・地域社会が連携し、国や地域を超えた協力を進め、人々の生活の質と well-being 向上に努めることをここに宣言する。

2026 年 9 月 28 日
Kyoto Hip Health Summit

